



イルミネーション (打田)

南部住民センターと消防署 機能確保引き続き調査検討

上田 毅 議員 (無会派)

南部住民センター・南部消防署の計画を市長3期12年間行なわなかった理由とは、財政が厳しいなら工事地域の開発を早く進めて企業誘致をし、それによる税収を図り特定の基金を創設して積立てを考へては、

(総務部長) そついった目的税を設置する事は現在考へていない。

山 山の郷灯実行委員会を設立しイルミネーションを開催させていた。私たちが有志でボランティアとして、京田辺市内で一番高齢化率が高く過疎化する地域の町興しとして開催し、実に7633人の来場者数があり大成功を収めた。こついったイベントで若返り作戦を図っても農家をさされる方しか住めない特定

地域であり益々過疎化する。高齢化を若返らせるための施策をやつていくべき。

(理事) 普賢寺の方は農業・新規就農に限られ、人を増やす、若返りを図ることは難しい。

市長3期12年間を務めての自己評価の報告を。市民の中では「あっち(北部地域)は満足している。こっち(南部地域)では、ほつたりかしやな」と、聞かせる声が多い。聞かせるところだけは申し添えておきます。

(市長) 交通利便性を最大限に生かしながら、魅力ある街づくりを進める事ができた。3期12年を過(して)私は満足している。



奥駒ヶ谷公園前の交差点 (同志社山手)

75歳以上の歯科検診実施を 答 ニーズ把握し今後検討する

岡本 亮一 議員 (共産党)

後期高齢者医療制度について。政府は75歳以上の後期高齢者医療の保険料を最大9割軽減する特例措置の廃止を決めたが、その影響は、

(市民部長) 対象者が約1400人、これにより増加する保険料は、全体で700万円程度と見込んでいる。

短期保険証の交付について、全ての被保険者に保険証を届けるべき。

(市民部長) 郵送での通知や電話連絡、訪問を行うなど、丁寧に対応している。

75才以上に歯科検診の実施を。

(市民部長) ニーズを把握するなかで、今後、検討する。

交通安全対策について、同志社南交差点に右折信号(三山木方向)の設置を。

府警本部において、現状の右折車両の交通量では設置する必要は低いと判断されたとの報告があった。

山手幹線(同志社山手・精華町)、やすらぎ保育園前交差点を南進後すぐに2車線から1車線に車線数が減少する。そのため車両同士が接触事故を起こす恐れがある。改善すべき。

(建設部長) 道路が1車線に絞られるという注意喚起の点から、標識や路面標示などの管理者である山城土木事務所に伝える。

同志社山手にある奥駒ヶ谷公園前の交差点に信号機の設置を。

(建設部長) 今後、交通管理者である田辺警察署と相談する。



JR大住駅

大住駅エレベーター設置は 令和2年中の整備を求める

青木 綱次郎 議員 (共産党)

ポケットベル用周波数帯電波を利用し、災害時の住民避難情報など各家庭に直接伝達する「防災ラジオ」のシステムが注目されている。基地局は他自治体と共同設置も可能で、本市も導入検討を。

(危機管理監) 防災情報の伝達は重要であり、本市に適した伝達手段を検討している。

埼玉県熊谷市で「小学生受動喫煙検診」を実施し、小学生がどのくらいタバコの煙に接しているかを可視化し、受動喫煙防止効果をあげている。本市でも実施を求める。

(健康福祉部長) 健康増進計画・食育推進計画の重点プロジェクトの一つとして、「自分や大切な人をタバコの害から守る」に取組んでいる。家庭内受動喫煙も課題であり、

防止の啓発に取組んでいる。

平成30年に制定された府「手話言語条例」に基づく本市の取り組みは、②本市でも手話言語条例の制定を。

(健康福祉部長) ①府条例制定前から、手話や要約筆記養成講座開催、手話奉仕員や要約筆記者の研修会実施、手話通訳者職員採用、市職員対象の手話学習会など取組んでいる。②第5期障害福祉計画で、市民に手話等の普及を図ることをあげ取組んでいる。条例を制定するまでもない。

JR大住駅へのエレベーター設置の進捗状況は、

(建設部長) エレベーターを含むバリアフリー化に向け、令和元年度設計、2年度中には事業完了をJR西日本に求めている。



中学校の昼食の様子 (大住中学校)

中学校給食の早期実現を 答 基本計画を策定する

河田 美穂 議員 (公明党)

中学校完全給食を早急に実現すべき。

(教育部長) 令和2年度に具体的な実施場所、調理業務の運営手法、財政状況などを総合的に検討し、早期実現を目指す基本計画を策定する。

市立中学校の制服を性別に関係なく選べるようにすべき。

(教育部長) あらためて学校とPTAに議論していただきたい。ように投げかけていきたい。

教室までの運搬・昼食時間の延長など中学校昼食注文弁当の改善を。

(教育部長) 今後の研究課題と考へている。

児童虐待防止対策の強化をすべき。

(市長) 児童相談所・学校・警察をはじめとする関係機関との連携強化など、体制を強化する。

高齢者肺炎球菌定期接種の5年間延長の周知徹底と市独自助成の継続をすべき。

(健康福祉部長) 接種率向上のための周知に取組む。市独自の助成事業も引き続き実施する予定。

風疹拡大防止のため、39歳から56歳までの男性に抗体検査及び予防接種が無料になる受診券発行を急ぐべき。

(健康福祉部長) できるだけ早く受診券を発行するように準備を進めている。

災害時に避難所となる体育館などへエアコンを設置すべき。

(危機管理監) 他の施設整備状況を見て総合的に判断する。財源措置を国や府へ要望する。

との連携強化など、体制を強化する。

高齢者肺炎球菌定期接種の5年間延長の周知徹底と市独自助成の継続をすべき。

(健康福祉部長) 接種率向上のための周知に取組む。市独自の助成事業も引き続き実施する予定。

風疹拡大防止のため、39歳から56歳までの男性に抗体検査及び予防接種が無料になる受診券発行を急ぐべき。

(健康福祉部長) できるだけ早く受診券を発行するように準備を進めている。

災害時に避難所となる体育館などへエアコンを設置すべき。

(危機管理監) 他の施設整備状況を見て総合的に判断する。財源措置を国や府へ要望する。